公民館だより

中央公民館　☎55-2131

親子で楽しく小正月行事を体験
夢工房「だんごならしお話会」

村のお話ボランティア「夢工房」のだんごならしお話会が1月14日、ハレスコで4年ぶりに行われました。

「だんごならし」は、小正月行事のひとつで、だんごを枝に飾り、その年の五穀豊穣、商売繁盛、無病息災等を願う行事です。

お話会では、だんごを飾った後、だんごならし由来の紙芝居や縁起物、十二支の絵本の読み聞かせも行われました。お話会に参加した17人の親子は、和やかに交流しながら伝統行事を楽しみ、最後には振るまわれたお汁粉をおいしそうに頬張っていました。

レディースセミナー
「こんにゃく作り体験」

レディースセミナーが1月16日、ハレスコキッチンで開催されました。第3回目となる学習会は上北方の村上英子さんを講師に迎え、こんにゃく作りを体験しました。こんにゃく芋をサイコロ状に切るところから始まり、ミキサーでとろとろになるまで砕き、火にかけて精製ソーダーを入れ固まると、よく見るこんにゃくになります。さしみこんにゃくを試食した参加者からは「とてもトロトロして美味しい」「売っている物とは全然違う」と手作りの味を堪能していました。

文化財を火災から守るために

平田村文化財防火デー啓発事業が1月26日、村内で行われました。

この事業は全国統一で実施される1月26日の「文化財防火デー」を周知し、文化財保護の啓発と防火意識の高揚を図るために行われているもので、今年度は平田村文化財調査委員と石川消防署平田分署職員の協力により、村指定天然記念物の防火パトロールと消火経路の確認を行いました。

地域包括支援センターって何？

皆さんは地域包括支援センターを知っていますか？地域包括支援センターは高齢の方々が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるように、介護・福祉・医療など、様々な面から支援を行う地域の高齢者支援の窓口です。

介護予防や認知症に関する相談や、介護サービスの利用に関する相談など、 ご本人やご家族、そして地域の皆さん、どなたからの相談も受け付けています。
「こんな事を聞いてもいいのかな？」と思う事でも一人で悩まずにお気軽にご相談ください。電話や来所のほかにも、地域包括支援センターの職員が自宅に訪問してお話を伺うこともできます。

自分や家族の健康や生活について、日々の心配ごとや悩みごとの相談。

高齢者ご本人

●今の健康状態を維持したい。
●最近足腰が弱くなり、動けなくなることへの不安がある。
●介護保険サービスを利用したいが、申請の方法がわからない。
●判断能力が衰え、お金の管理が不安になってきた。
●認知症になったらどうしよう…。
●話し相手がほしい。　など

同居や別居している高齢の両親について、日々の心配ごとや悩みごとの相談。

高齢者のご家族

●仕事と介護の両立をするために、介護保険のサービスを知りたい。
●家族の介護に疲れてしまった。
●離れて暮らす一人暮らしの親が心配だが、様子を見に行けない。
●一人暮らしの親が、悪質商法に何度も騙されている。
●どんな介護用品があるのか知りたい。　など

ご近所に住んでいる高齢者について、変わったことや気になることなどの相談。

地域のみなさん

●外出する姿を見なくなった高齢者がいる。
●高齢者の家で家族が怒鳴っている声をよく耳にする。
●あやしげなセールスマンが頻繁に出入りしている家がある。
●気軽に集まれる場に行ってみたい、場をつくりたい。　など

相談は無料です。秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ　平田村地域包括支援センター（地域福祉センター内）　☎ 55-3125